

【ATPセッション】 (会場:14号館)

化学の貢献が期待され注目度の高い喫緊の課題にフォーカスして、T1～T3の3セッションを実施。産学官から集結した多彩な講師陣の熱い講演に乞うご期待!あなたも是非、会場で熱い議論を!

T1. 資源・次世代エネルギーと環境 3/27～3/28

東日本大震災から4年を経た今、エネルギー、環境および資源をめぐる諸課題解決の重要性と緊急性は更に増すばかりです。これらの諸課題解決に向けて関心の高い5つのサブセッションを設定し、化学が果たせる役割を産学官でともに考える場を提供します。多くの参加者の熱気溢れる議論を期待します。

A. 太陽エネルギー変換の新技術と展望、B. FCV元年、本格普及へ向けた燃料電池・水素エネルギー技術開発、C. リチウム硫黄二次電池への挑戦、D. エネルギーの高効率利用と環境を支える化学、E. 再生可能炭素資源を活用するための有機合成化学

【オーガナイザー】:宮坂力(桐蔭横浜大院工・教授)、井上晴夫(首都大院都市環境・教授)、佐々木一成(九大水素エネルギー国際研究センター・センター長)、片山靖(慶大理工・教授)、江口浩一(京大院工・教授)、山口雅彦(東北大院薬・教授)

T2. 話題の技術～実用化のカギを握る新材料～ 3/26～3/28

様々な応用が期待されるプリントエレクトロニクス技術(塗る)、生物の持つ環境対応等の多様性を模倣する技術(做う)、化学と機械といった異分野の連携で実用化を目指す技術(組む)を取り上げ、これらに関する最先端の材料や技術を紹介する3つのサブセッションを設けました。化学技術のみならず周辺の技術領域までも含む広範な内容について、活発な議論の場を提供します。

A. 塗る—プリントエレクトロニクスと新材料、B. 做う—バイオミメティクスと新材料、C. 組む—複合化技術と新材料

【オーガナイザー】:鎌田俊英(産総研FLEC・センター長)、下村政嗣(千歳科技大・教授)、松崎亮介(東理大理工・講師)

T3. バイオ技術の新展開 3/26～3/28

バイオ技術による医療・ヘルスケア、食糧・水、資源・環境、エネルギー等の課題解決への期待を受けて、過渡期に入ってきた「植物工場」、個別化医療を踏まえた病気の診断や健康管理、さらには感性の定量化のための「バイオ計測技術」、そして、新たな市場創生に向けてのユニークな技術を有する「バイオベンチャー」を取り上げました。これらの革新的バイオ技術の基礎から応用、技術戦略からビジネス戦略、そして事業性評価まで、幅広い議論の場を提供します。

A. 植物工場の新展開、B. 次世代バイオ計測技術の新展開、C. バイオベンチャーの新展開

【オーガナイザー】:後藤英司(千葉大院園芸・教授)、宮本憲二(慶大理工・准教授)、菅裕明(東大院理・教授)

【ATPポスター】 3/26

(会場:理工スポーツホール)

学官から産への研究シーズのPR、産の研究結果PR、共同研究を企図した研究紹介、等々、産学官の研究者がface-to-faceで交流する場を提供します。優れた発表には優秀講演賞(産業)が授与されます。様々な視点から研究のアドバイスやヒントが得られるチャンスです。3/26 15:00～16:30、ポスターの前で繰り広げる活発な議論に、是非あなたも参加しませんか!

**【JACI(新化学技術推進協会)特別企画
～化学産業から学生に伝えたいキャリアパス
ガイダンス/企業で活躍するために～】 3/26**
(会場:14号館)

企業の第一線で活躍する方々が化学産業の現状や企業での仕事・働き方、企業が求める人材像を学生の皆様に伝え、自らのキャリアパスや学びの意義を考えてもらう場を提供します。学部学生から博士前期・後期課程の大学院生、ポストドクターまで、化学企業を目指す学生の皆様にとっては大変有益な得難い時間となるでしょう。産学連携による人材育成に関わっている大学関係者や企業関係者の皆様も、是非ご参加下さい。